

令和8年度 第1回 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 総会 会議録

1. 会議概要

- 会議名：令和8年度 第1回 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 総会
- 日 時：令和8年7月8日（水）14時から15時14分
- 場 所：那須町文化センター小ホール
- 出席者：委員20名中15名（過半数出席により総会成立）、日本遺産アンバサダー（株式会社八芳園 郡山事業所 所長矢内氏）、事務局14名

2. 決定事項

- 役員の選出：会長（渡辺那須塩原市長）、副会長（相馬大田原市長、森島矢板市長、平山那須町長）の再任、および新たな監事（矢板市・大田原市の各観光協会長）の選任が承認された。
- 令和7年度 事業報告および収支決算：モニターツアーや演劇公演などの実績報告と、次年度繰越金980,689円を含む決算が原案どおり承認された。
- 令和8年度 事業計画および収支予算：事業費総額7,981,000円の予算が承認された。今年度は、事業者向けファムツアー、大田原市での演劇公演、英語表記の日本遺産パンフレット作成、「MATSURI JAPAN 2026」（高輪ゲートウェイ）への出展、八芳園との連携によるアンバサダー事業などを実施する。

3. 次回総会の日程について

- 第2回総会を、令和9年1月29日（金）午後2時より矢板市にて開催する予定である。

4. 継続検討事項

- ファムツアー行程の調整：委員からの要望（世界遺産（世界かんがい施設遺産）である「那須疏水」を行程へ追加してほしい）を踏まえ、最終的な行程を検討する。
- 演劇事業の広域展開と予算の抑制：演劇の大道具の作り替え費用を極力抑え、小田原市など他地域での公演に予算を振り向けられるような仕組みづくりを検討する。また、学校等で活用しやすいよう上映時間等に配慮した記録DVDの編集・活用についても検討する。
- アンバサダー事業での地元食材の活用：八芳園と連携し青木那須別邸で実施予定の体験メニュー開発において、例えば、大田原産とうがらしなど地元食材の活用を調整する。
- 歴史的特性を活かした事業展開：古代の東山道から近代の国道まで、各時代の重要な道が集まる特性を活かし、「歴史サミット」等のような広域的な事業展開の可能性を模索する。

5. 共有事項

- **日本遺産審査のスケジュール変更：**文化庁の総括評価・継続審査のスケジュールが変更され、当地域の審査は1年延期となり「令和10年度」に実施されることとなった。当面は現在の地域活性化計画に基づき事業を推進する。
- **各市町のPRと連携状況：**
 - 大田原市では、朝ドラ「風、薫る」関連展示の盛況やマンホールカード等の配布が、日本遺産への関心向上に寄与している。
 - 矢板市では、山縣有朋記念館をきっかけとした小田原市との連携を深めており、日本遺産の周遊性向上への波及が期待されている。
 - 那須町では、令和8年10月からの宿泊税導入を見据え、観光客の受け入れ体制整備などを進める方針である。
- **アンバサダー事業者の本遺産への所感：**株式会社八芳園 郡山事業所所長 矢内氏からは、開拓の歴史やストーリーが文化資産として残っている点を高く評価し、今後は地元事業者と協力しながら食や体験のコンテンツを磨き上げていきたいとの見解が示された。